

# 男女共同参画行政の状況

## 平成21年度活動状況

6/22  
~29



男女共同参画週間パネル展

6/28



第4回西原町長杯さわふじミックスダブルステニス大会及びパネル展示

10/27  
11/17  
1/19



さわふじプラン地域推進委員会(13名)  
職場部会・地域家庭部会でごんばります。  
詳しくは5ページをご覧ください。

男女共同参画講演事業  
「長男の妻応援! ゆんたく集会」  
西原町中央公民館 120名余参加

10/23  
3/4



さわふじ懇話会(9名)  
詳しくは5ページをご覧ください。

11/16  
~24



DV防止パネル展示  
女性に対する暴力をなくす運動  
(毎年11月12日~25日)

2/3



町民優先雇用及び女性職員の管理職登用要請行動  
訪問企業(順不同) 金秀本社 西原敬愛園  
(株)サンエー本社 沖縄森永乳業(株)

長男の妻応援! ゆんたく集会

2/18



### 研修報告

## 日本女性会議2009さかいに参加して

開催日:平成21年10月30日~31日  
場所:堺市民会館  
参加者:奥濱 幸子(赤十字奉仕団)



10月30日(金)~31(土) 女性の自立と解放を熱く訴え、「山の日きたる」とうたった与謝野晶子の生誕の地である「堺」で「日本女性会議 2009さかい」が開催されました。今年は、国連での「女性差別撤廃条約」の採択から30年、「男女共同参画社会基本法」制定から10年目の節目の年になります。全国から4000名余りが参加、開会式において、出演者、参加者ともに心をひとつにし、男女共同参画社会実現という共通の目標に向けての決意を新たにしました。

1日目の全体会では、岡島敦子・内閣府男女共同参画局長より、「男女共同参画施策の現状と課題」についての基調報告が行われ議論の土台となる「共通の認識」を確認しました。家庭や地域において、男女共同参画実現に向けて、どのように取り組んでいくべきか。具体的に示唆に富む内容は、一人ひとりが「実践」することの重要性を改めて考え直すきっかけともなりました。

そのあと、「世界の女性の現在、そして、これからの地球社会~女性差別撤廃条約と国際社会の役割~」をテーマに林陽子(弁護士)、季節子(長崎県立大学大学院教授)が対談。女性問題は国境を越えること、社会を変えるために「法」を変えなくてはいけないこと、一人一人が「動く」必要があることなどをわかりやすく話していただきました。お二人の専門であるドメスティックバイオレンスの現状や女性差別撤廃委員会での会議の内容など、具体的でリアルな内容は、私たちにとって興味深く、いちいち納得することばかり。世界が豊かな人間尊重社会へと変化していくためには、国際社会が持つ役割や地球社会としての視点が、今後一層、重要になっていくことなど、認識を新たにしました。

2日目は第15分科会、ワーク・ライフ・バランス実践セミナー<落語・講演&パネルディスカッション>『男性も育児・家事を楽しもう~子育てパパの本音トーク~』に参加しました。男の世界といわれる落語界で活躍する桂あやめさんの落語や、お話は、楽しさの中に、女性として生きるすばらしさを感じました。

また、「男は仕事」という意識が根強く、男性の育児、家事への参画が進まない中「育休や短時間勤務制度は、自分にとってマイナスではない」と主体的に育児にかかわった男性の本音トークでは、男性が育児、家事に参画することのむずかしさ、子どもと向き合う楽しさ、自分らしく生きるすばらしさを学びました。

最後に、「日本女性会議 2009」に参加できたことに感謝し、自分としてのライフ・ワーク・バランスをもう一度、考えて見たいと思います。

